

2025 年 11 月 26 日

報道関係各位

GMO デザインワン株式会社

GMO デザインワン、全エンジニアに『Claude Code』導入 生成 AI で開発効率 50%向上を目指す ～日常業務のコーディングに AI を取り入れ、生産性を底上げ～

GMO インターネットグループの GMO TECH ホールディングス株式会社の連結会社で、インターネットメディア事業を展開する GMO デザインワン株式会社（代表取締役社長：高畠 靖雄 以下、GMO デザインワン）は、2025 年 11 月 26 日（水）より、米 Anthropic 社 (<https://www.anthropic.com/>) が開発・提供するエージェント型 AI コーディングツール「Claude Code」を当社の全エンジニアに導入しました。

本取り組みは、プロダクト開発のさらなる迅速化と品質向上を図るためのもので、GMO デザインワンでは Claude Code を日常的な開発業務に組み込み、生成 AI による支援を標準化し、生産性の最大化と AI リテラシーの底上げを実現してまいります。



【背景】

近年、生成 AI の進化により、ソースコードの自動生成・修正といった開発支援への活用が急速に広がっています。

米調査会社 The Business Research Company のレポートによると、生成 AI を活用したソフトウェア開発市場は、2024 年に 534 億ドル、2025 年には 662 億ドルへと成長し、年平均成長率（CAGR）は 24.1%に達するとされています（※1）。さらに、AI ソフトウェア市場全体の規模は 2025 年に 2,573 億ドルに到達する見込みであり、AI を開発現場に取り入れる動きは今後も加速することが予想されます（※2）。

GMO デザインワンにおいても、「Claude Code」をはじめ、AI コーディングツールを複数使って検証を重ねてまいりました。実際に利用するエンジニアの意見を参考にし、Claude Code は「自然言語でのやりとりが直感的であること」や「実装意図を的確に汲み取ったコード提案が多い」といった理由から、このたび全エンジニアに導入することとしました。

なお、GMO デザインワンのパートナー（従業員）における生成 AI の業務活用率は 100%となっています。

（※1）：The Business Research Company「Generative AI in Software Development Market Report 2024」

<https://www.thebusinessresearchcompany.com/report/generative-ai-in-software-development-global-market-report>

（※2）：Precedence Research「Artificial Intelligence (AI) Software Market Size 2024–2032」

<https://www.precedenceresearch.com/press-release/artificial-intelligence-ai-software-market>

【AI コーディングツールとは】

AI コーディングツールとは、AI 技術を活用して、プロダクト開発におけるコードの作成、修正、テスト、デバッグ、最適化などを支援するツールの総称です。

これらのツールは、自然言語処理技術や大規模言語モデル（LLM）に基づいており、エンジニアの開発効率を飛躍的に向上させるとして注目を集めています。

【導入の目的と効果目標】

■ 開発効率の飛躍的向上

Claude Code は、自然言語での指示に対し、最適なコードの生成が可能であり、コード記述中に文脈を理解してリアルタイムで修正提案や自動補完を行えます。

これによりエンジニアの作業時間を約 50%短縮することを目指しており、コードレビューの手戻りも減少する見込みです。

■ サービス提供・機能改善の迅速化

開発作業の時間削減や、自然言語処理技術の活用により、サービス提供や機能改善のスピードを大幅に向上させます。

■ 安定性・セキュリティの強化

リファクタリングやバージョンアップ対応を Claude Code で行うことで、サービスは常に高いセキュリティを維持し、最新の状態を保つことが可能になります。

■ AI ネイティブな組織文化の醸成

生成 AI 活用を標準業務とすることで、組織全体の AI リテラシー向上を促進。中長期的に、AI を前提としたプロダクト開発戦略の基盤となります。

【今後について】

GMO デザインワンでは、生成 AI を単なる補助ツールとしてではなく、開発プロセスの中核に位置づけ、AI ネイティブなプロダクト開発を推進していきます。今後も最新技術を積極的に取り入れ、ユーザーにとってより便利で充実したサービスの提供を続けてまいります。

【GMO デザインワンについて】

GMO デザインワンは、すべての人の暮らしをより発見的で豊かなものにするため、ポータルサイトをはじめとする IT サービスを展開しています。これらのサービスは、魅力あるお店やサービスを探す「消費者」と、価値あるものを提供する「事業者」とを繋ぐ架け橋です。一つひとつの出会いが店のファンを増やし、街に活気を生み出していく。この好循環を日本全国に広げることで地域経済の活性化を牽引し、その先にある日本経済の発展、そして私たちが目指すミッション「世界を、活性化する。」の実現へと邁進してまいります。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO TECH ホールディングス株式会社

広報部 小林

TEL : 03-5489-6370 FAX : 03-5489-6371

E-mail : hd-press@hd.gmotech.jp

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 西崎

TEL : 03-5456-2695

お問い合わせ : <https://group.gmo/contact/press-inquiries/>

【GMO デザインワン株式会社】(URL : <https://www.designone.jp/>)

会 社 名	GMO デザインワン株式会社
所 在 地	東京都新宿区新宿 2-16-6 新宿イーストスクエアビル
代 表 者	代表取締役社長 高畠 靖雄
事 業 内 容	インターネットメディア事業、開発事業
資 本 金	1 億円

【GMO TECH ホールディングス株式会社】(URL : <https://hd.gmotech.jp/>)

会 社 名	GMO TECH ホールディングス株式会社 (東証グロース市場 証券コード : 415A)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 CEO 鈴木 明人
事 業 内 容	連結会社の経営管理ならびにこれに付帯または関連する業務
資 本 金	1 億円 (2025 年 10 月 1 日時点)

【GMO インターネットグループ株式会社】（URL : <https://group.gmo/>）

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 （東証プライム市場 証券コード：9449）
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社（グループ経営機能） ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2025 GMO DesignOne, Inc. All Rights reserved.